



研究テーマ： 教育・医療・福祉施設など、公共建築の設計に関する研究
(学校・病院・ケアセンター)

研究者： 西村 謙司
NISHIMURA Kenji
(工学部建築学科 教授)

【研究・開発の目的】

地域内で新しいコンセプトを有する公共施設を建築する際に求められる建築の建築学的課題や地域的課題を解決する方法を究明し、各地域に最もふさわしい建築の設計を行う。地域の人々の潜在的な要望を充たす仕方では建てられた建築は、地域に魅力を与え、そこに豊かさを齎すと考えている。

【研究・開発のきっかけ】

建築設計の多くは、地域の人々からの要望が先行する場合が多い。時に、建築家の立場から、地域が一層魅力的になることを求めて、地域に適した新しい建築の提案を行う。

【研究・開発の概要】

教育・医療・福祉に関する建築の既往事例を調査し、過去の優れた事例に基づいた建築の提案を行う。加えて、建築が建てられる場所の場所的特性の調査を行い、個々の敷地の最適解となる建築の究明を行う。そのような知的調査を前提として、地域にふさわしい魅力的な建築設計を試みる。

【研究・開発の特色】

建築の研究調査を踏まえた設計を行うため、類似事例の中から優れた技術を抽出し、その技術をさらに進展する仕方で行うことができる。また、各地域の敷地調査も学術的観点から調査を行うため、学術的な知に根ざした歴史文化的な建築の構築が可能である。実際に設計を行う際も、設計モデルを多様に提示し、多角的なシュミレーションを踏まえた上で設計を行う。

【今後の展開、課題】

教育・医療・福祉に関する施設は、人の幸福に直結する建築である。それ故、解答は多様にありうるが、住む人の「住み心地」を追求する設計を行う努力を惜しまず活動を展開する。

【その他の情報】

活用した助成金：科学研究費助成事業（日本学術振興会）

産学官連携実績：大分県、大分市、豊後大野市、大分県内の建築設計事務所

【地域・企業へのメッセージ】

将来にかけて地域をよくするには、何が問題でどのようなことを課題とすればよいかを学際的・広域的に調査・研究しています。そして、そのような調査・研究を踏まえた建築活動を行っています。同じ志を有する人々と連携して活動ができることを期待しています。